

研究者の素顔や生き方、いかがでしたか?
リボンでつながる先輩たちのメッセージから
研究者それぞれの考え方や想いが
伝わってきたのではと思います。
この青いリボンが、あなたの未来につながることを願って…

未来に 繋がる 青いリボンの エトセトラ



京都大学男女共同参画推進センター

Vol.4

—— 京都大学を目指すあなたへ ——
研究者からの言葉
それは未来につながるメッセージ

京都大学

男女共同参画推進本部（男女共同参画推進センター）

2018.02





人とつながらない研究はありません。

研究室や国内だけではなく、
海外の人とつながることによって、
いろんな情報を得ることができます。
競争ではなく、お互いに協力しながら進めていく。
協働しながら新たなものを作る、
見出すのが研究だと思います。

ネットから情報を得るのは簡単ですが、
知識と自分の経験から得たものとは違います。
次のステップに進むとき、
経験はすぐに生かすことができますが、
知識はあふれるほどあっても、取捨選択が必要です。

人とつながり、いろんな経験をする。
その経験から得できたものが、
人を育てていくのです。

稲葉 力 純

男女共同参画・国際・広報担当理事
副学長
男女共同参画推進センター長

奈良女子大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。京都大学理学部助教授（女性初）、同大学院理学研究科助教授を経て、同生命科学研究科教授に就任。生命科学研究科長（女性初）を務めた。米国ロックフェラー大学連携教授を併任。免疫システムにおける樹状細胞の主要な役割の解明に貢献し、2014年「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」を受賞。2016年に紫綬褒章を受章。

Girls, be Ambitious!



山田 文 法学研究科 教授	3
浅井 歩 理学研究科附属天文台 准教授	5
池田 華子 医学部附属病院 准教授	7
田口 真奈 高等教育研究開発推進センター 准教授 ..	9
伊藤 美千穂 薬学研究科 准教授	11
杉野 未奈 工学研究科 助教	13
池田 さなえ 人文科学研究所 助教	15
木下 こづえ 野生動物研究センター 助教 ..	17
京大で学ぶ女子特別座談会	19
イベント情報	21



Aya Yamada

法学研究科
教授

山田 文

東北大学法学部卒業
▼ 同大学法学部助手
▼ 岡山大学法学部助手・助教授
▼ 京都大学大学院法学研究科 助教授
▼ 大学院法学研究科 教授



研究テーマ
民事紛争の解決手続
特に合意による解決の
あり方の研究



研究は地道な作業の連続。 コツコツ積み重ねて 自分の世界を作る楽しさ



学部4年のときに入っていた民事訴訟法のゼミで、資料や文献をたくさん調べていくうち、どんどん深く入り込んでいきました。それは探検のように面白くもあり、怖くもあり、やりがいがあって。教授から助手に誘われたこともあり、大学に残りました。

民事訴訟は法律に従った判決で終わるのが原則ですが、当事者同士の和解や調停という形で解決できることもあります。その手続(進め方)がどうあるべきかを分析、研究しています。この研究テーマを選んだのは、助手時代に公開の法廷を傍聴したことがきっかけ。訴訟手続は、理論的には当事者本人が主役とされていますが、実際に法廷で見た当事者は、裁判官の前で委縮してしまったり、法律や手続に振り回されている印象を受けたからです。和解、合意で終わる調停は、いっそう、当事者が主役としてちゃんと納得して終わらなければなりません。強く説得されたから仕方なく、という合意ではなく、そういう手続をどのよ

うに作っていくかが最終目的です。調停やその記録は非公開なので、それに関する実務化の論文や学会での話、基本的には資料や文献に基づいて研究をする、まさに「象牙の塔」ですね。最近は、法務省や最高裁判所、出版社や行政関係の審議会などへの出張も多いです。いろいろな分野の仕事があることが気分転換にもなり、少しづつ自分の世界を作っている感じが、モチベーションになっています。

法律を作るのも研究者の仕事の一つ。法務省の法制審議会で意見を述べて立法に助力することも。また、海外では企業間の紛争を調停や仲裁で解決することも多く、国際仲裁や国際調停の制度がある。現在、国際調停のルール作りのために、国連の会議にも出席している。



ESSENTIAL THINGS



仕事の合間のネコの世話が、
息抜きになっています

現在、飼っているのは、オスのアビシニアン。助手時代、夜中まで研究室に残って論文を書き、当時大学にいたネコと語る時間が息抜き…という日々もありました。

私の Key Item



3歳から始めたバイオリン。
音大受験を考えたことも

一時は音大を目指しましたが最終的に法学部を志望。大学卒業後の留学中や岡山大学赴任のときも、必ずバイオリンを持って引っ越し。最近は仕事が忙しく弾く時間がないのが悩み。

高校生へのメッセージ

研究者は、ずば抜けた好成績よりも、情熱と勤勉さと体力があれば何とかなります。特に文系では、コツコツと積み重ねていけば、世界を構築することができるので、女子一生の仕事にふさわしいと思います。

L 山田先生のある一日 One Day Schedule

出勤時間	まちまち
昼食	研究室で出張の場合、新幹線の車中でも仕事
昼間	授業、学内業務、研究
夕方～夜	深夜まで研究の日も
帰宅後	夕食、猫の世話等





Ayumi Asai

理学研究科附属天文台
准教授

浅井 歩

京都大学理学部卒業

▼ 大学院理学研究科 修士課程

▼ 大学院理学研究科 博士課程
(日本学術振興会 特別研究員 DC1)

▼ 国立天文台野辺山太陽電波観測所
上級研究員・助教

▼ 京都大学宇宙総合学研究ユニット
特定助教

▼ 京都大学宇宙総合学研究ユニット
特定准教授

理学研究科附属天文台 准教授



研究テーマ

太陽物理学。

太陽の表面の爆発現象と
地球への影響の研究



大きな爆発現象が起きると、 ドキドキソワソワ。 地球への影響予測ができれば



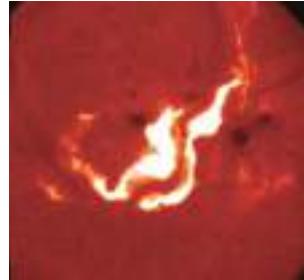
太陽物理学を選択したきっかけは、学部1年の夏休みに花山天文台、飛騨天文台を訪問したことです。太陽の画像を見せながら先生がとても楽しそうに説明されるのを見て、面白い研究なんだなと思いました。初めて太陽を観測したのは、3年生のとき。1日かけて観測したデータを早回してみると、ものすごくいろんなことが起きていて。観測中は全然気づかなかつたけれど、太陽は活発な星であることを体感し、純粋に面白いと思いました。大学院生のとき飛騨天文台の観測で、太陽の黒点からジェットが出ているのを見た。先生に見せると「大珍しい現象だ。これを調べてみてはどうか」と勧められ、データを解析。成果を学会で発表し、論文にまとめたのが、とても楽しい経験になりました。

太陽表面の活動現象のなかでも特に派手な爆発現象が好きです。オーロラが起きるのはフレア(太陽面爆発)が原因であるように、太陽は地球へ大きな影響を与えます。人工衛星や地上で

観測された太陽のデータは即時公開され、インターネットがあれば入手できます。それをパソコンの前で解析することが多いです。インターネットは天文学が牽引した部分もあり、観測データは追いつかないぐらいのスピードでどんどん増えていて、人が見たことのないデータも存在します。それをどうやって解析しようかというのが面白い。爆発現象の原因と仕組みを解析し、精度の高い地球への影響予測ができると思っています。



花山天文台別館のザートリウス望遠鏡は、現役としては日本最古の107歳。2001年にこの望遠鏡で観測された太陽フレアのデータを解析して論文に。当時の国際会議で「90年前の望遠鏡で観測した」と発表すると、拍手喝采。このフレアは「浅井フレア」と呼ばれている。



ESSENTIAL THINGS



剣道にエネルギーを 注ぎ込んだ高校時代

親の反対を受けながら剣道の強い高校へ行ったので、剣道はもちろん勉強も手を抜いてはいけないと、自分にプレッシャーを与えていた。剣道で培った体力は研究にも生きている。研究には体力が要るので。



週末は子どものための時間。

研究が楽しいので、時間があれば研究をしたいけれど、子どもとの時間も大切にしたい。今は日々の子どもの成長が目で見てわかるのが楽しいし、面白いです。

高校生へのメッセージ

将来の夢がない、決められないというのは、可能性があるということ。こうあるべきだと先に自分で限界をつけないで。進もうと思った道が「ちょっと違うな」と感じたとき、進路を変えられるのも可能です。

L 浅井先生のある一日 One Day Schedule

7:00	起床
8:30	子どもを保育園へ
9:30	出勤
10:30	講義・ゼミ・会議・研究
12:00	昼食 (教職員や学生と情報交換・ランチ会議)
13:00	ゼミ・会議・学生との研究打合せ・研究など
17:00	保育園へお迎え
18:00	帰宅 家事 夕食
22:00	メールチェック
24:00	就寝



Hanako Ikeda

医学部附属病院
准教授

池田 華子

京都大学医学部卒業

▼ 医学部附属病院 研修医

▼ 天理ようろづ相談所病院 研修医

▼ 先端医療振興財団 研究員

▼ 京都大学医学部 研究生

▼ 医学部附属病院 探索医療センター 医員

▼ 滋賀県立成人病センター 眼科 副医長

▼ 京都大学医学部附属病院 眼科 助教

▼ 医学部附属病院臨床研究総合センター
准教授



研究テーマ
神経保護剤による眼難治疾患の
新たな治療法開発

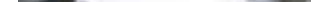
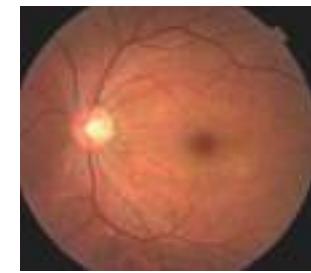
患者さんに早く治療を届けたい。 研究、子育てに「忙中楽」あり 女性チームで奮闘中

困っている人を助けるを第一の純粋な気持ちから医学部を目指しました。眼科を選んだのは、手術という方法で“見える”という喜びを患者さんと共有できることと、目は美しいと感じたから。健康な目の網膜は、キラキラと光ってとても美しいです。角膜も透明で美しく、目の中に小さな宇宙があると感じます。

治療法のない目の病気の多くでは、網膜の神経細胞が弱って死んでいくことで病気が進みます。神経細胞を死なせないように保護する治療を神経保護と呼び、その治療法を開発しています。最初は、ES細胞やiPS細胞を目の神経の細胞に分化させる、再生医療の研究に取り組んでいました。眼科医として診察するなかで、治らない目の病気がたくさんあり、失明の恐怖と戦う患者さんが多数いることを知り、この現状を何とかしたいという気持ちから現在の研究を始めました。患者さんに早く治療を届けたい、少しでもよくなってほしい、という強い思いで研究に取り

組んでいます。眼科チームは女性が多く、大学院生の多くが子どもを持ちながら頑張っています。働きながら子育てもできる環境に恵まれ、周りの理解もあります。だからこそ、大学ずっと研究を続けていける。子育て中は仕事ができる時間が少なくなりますが、無理はせず、できる範囲で楽しくできたらと思います。

動物実験では、ある化合物(薬剤)の投与により神経保護の効果と病気の進行抑制が確認できている。現在は治験という形で患者さんに投与することを進めている。水に化合物を溶かした薬剤を用いて治療する。



ESSENTIAL THINGS



研究も子育ても、
一緒に頑張る仲間がいます。

年に1~2回、女子会や子連れ女子会を開催。眼科の大学院生をはじめ、女性医師、研究者が集合。仕事や子育てで日々忙しい中、同じ悩みを持つ者同士、息抜きのひとときです。

私の Key Item



大文字が真正面に 見える特等席

研究室のある8階のエレベーターホールから臨む大文字。毎日朝夕眺めています。吉田山や金戒光明寺の阿弥陀堂、三重塔も見えます。

高校生へのメッセージ

いろいろな人と交わり、いろんな経験をしてください。その経験が将来必ず役に立つし、人生を豊かにしてくれます。興味があれば研究室をのぞいて、ぜひ研究も体験してみてください。

L 池田先生のある一日 One Day Schedule

5:30 起床、朝食、洗濯

6:00 子ども起床、朝食

7:00 娘通学

8:00 息子保育園送り

8:30 出勤

研究

病院での
外来診察

退勤

保育園お迎え

家事、宿題
チェックなど

夕食

絵本を読む
子どもと就寝



Mana Taguchi

高等教育研究開発推進センター
准教授

田口 真奈

大阪大学人間科学部卒業

同大学院人間科学研究科修士・博士課程
▼
京都大学 高等教育教授システム開発センター
研修員

▼
メディア教育開発センター 助手
(ハーバード大学留学)

▼
同センター 准教授

京都大学 高等教育研究開発推進センター
准教授



研究テーマ
教育工学。大学教育実践研究



大学教育を学問としてとらえ、 実践的に研究。 新しくて面白い研究分野



「働くお母さん」になりたいと思っていました。子どもがいても働き続けるためには専門性が必要と考え、大学院に進学。博士までは、初等中等教育におけるメディア教育の研究をしていました。オーバードクター時代に、たまたま知人に連れられて訪ねた京都大学の高等教育研究開発推進センターで、「大学教育」が研究領域になることを知りました。これは新しくて面白いと思い、研修員としてさまざまなプロジェクトに参加。例えば UCLAと京都大学をつないだ遠隔講義や、慶應大学と京都大学の学生の合同ゼミを行うなど、主にICT(情報コミュニケーション技術)の側面から実践的研究をしていました。

その後就職したメディア教育開発センターでは、ICTが大学での程度普及し、授業でどのように使われているかを調査。ハーバード大学で、学生の学びの質を高める教育改善の研究にも取り組みました。現在は、ICT活用教育やプレFD(大学教員にな

ろうとする大学院生やポスドクのための職能開発プログラム)など、大学の授業やカリキュラム、先生の教え方、教育システムについて取り組んでいます。大学教育学という分野はまだ新しく、大学の教育実践を学問の対象として位置づけ、取り組み始めたのは京都大学が最初。大学や教育をより良くするために、専門的視点から調査、企画、評価を行い、実践を通して幅広く研究を続けています。

現代は「大学の学校化」といわれ、先生が好きなように研究の話をして、学生が勝手に学ぶという時代ではなくなってきている。大学教育をどのようにしていいか、ということを実践の中で研究。プロジェクトの数が多く関わる分野も幅広い分、飽きないので楽しい。



ESSENTIAL THINGS

京大で「コン活」?!教育コンテンツ活用のことです



京都大学のICTを活用した教育を推進するためのポータルサイト CONNECTを企画・制作。キャッチコピーを考え、デザイナーと打合せをし、目を引くネーミングやアイデアも提案。

私の Key Item 子どもたちは、いつもママの取り合い

「パパはザラザラ、ママはチュルチュル」と言って、子ども2人が両膝にのってくる。その時間がとても幸せ。本棚は夫の本がおいやられて、子どもの絵本が占領。折り紙上手な末っ子を「天才ちゃうかな」と思ったり(笑)。

高校生へのメッセージ

これから社会を生きていくには、研究マインドが必要。どんな職業にせよ、自ら疑問を抱き、それを解決できる術を持つことが、生きていく上での基本。大学はそれが学べる場所です。

L 田口先生のある一日 One Day Schedule

5:00 起床、メールチェック、子育て記録
6:30 朝食、弁当、夕食準備、(洗濯、子どもの相手は夫担当)

出勤 会議、授業
プロジェクト
関係の資料作成
打合せなど

9:00 退勤 子どもお迎え
18:00 子どもの宿題チェック
夕食

19:30 読み聞かせ
子ども寝かしつけ
21:00 就寝



薬学研究科
准教授
伊藤 美千穂

京都大学薬学部卒業
▼ 大学院薬学研究科 修士課程
▼ 大学院薬学研究科 博士課程
▼ 大学院薬学研究科助手
▼ 薬学研究科 准教授



研究テーマ
生薬・薬草植物学。
シソの精油、育種、分類など。
匂いのある薬用植物の生合成、
生薬薬理学的研究



薬草園にいると時間を忘れます。 好きなことをやってこそ、 研究は面白い



研究者にあこがれはありましたが、まさかなるとは…。博士課程2年のとき、担当教授から突然助手にと声をかけられ、「瓢箪から駒」で研究者に。「お金持ちはなれないが、思想は縛られない。苦労はするけど、頭の中に自由がある」という先生の言葉が決め手でした。当時、阪神淡路大震災で実家が被災したり、大きな国際学会の準備や後片付けに追われて実験もままならず。博士の学位を取得したのは、助手になって3年目でした。

シソの研究の基盤になっているのが、系統維持の作業。毎日のシソのお世話です。種をまいて育て、つぼみができたら花の咲く前に袋をかけ、熟したら一つ一つ種を揉みだして集め、系統ごとに冷蔵庫に保管。植物なので水やりも。この地道な作業がないと、オリジナルな研究はできません。畠仕事のほかに、実験室で成分を調べたり、遺伝子のクローニング、マウスを使った薬理実験や分析作業を。研究テーマはいくらでもあって、25年以上シソばっかり

かりに触っています(笑)。年に1~2回はフィールドワークで中国や東南アジアへ。生薬学は薬学の中だけに留まらず、農学や心理学、人間科学、文化人類学といった分野ともつながり、幅広く学べます。

好きなことを気の向くままにやってこそ、独創性のある研究が展開されて面白いものになると考えます。人が見て「楽しそうやな」と思われるような研究者でいらっしゃらと思っています。



生薬とは薬草の葉や根、果実や花、動植物の抽出物などを加工したもの。桂皮、芍薬、ウコン、ナツメ、地黄、牡丹皮など多種類が保管されている。シソは自分たちで育種し、維持してきた純系を使って研究。世界中で京都大学ほどシソの純系を持っているところは他にない。



ESSENTIAL THINGS

生薬研究はフィールドワークもやります



初現地調査は、シソ・エゴマの調査で1か月北タイへ。その時収集したサンプルは今も使っている系統です。手に持つ「なた」は現地で「イトウ」と呼ぶそうで、農家の方が持たせてくれました。

私の Key Item



着物が好き。お気に入りは、チョウの刺繍の帯

初めて自分で買った帯。イモムシやクモなど虫も好きで、イモムシ柄の帯はないので成虫(チョウ)で(笑)。暇があれば着物の本を見たり、半幅帯の結び方を研究したりしています。

高校生へのメッセージ

初めから「研究者に」なんて思わず、自分の性分に合った面白いことに出会えたら、それを究めることを職業を選ぶのもいいんじゃない?ぐらいの感覚でいいと思います。他人がどう言おうと、わが道を行ける人の方が研究者に向いているかも。

L 伊藤先生のある一日 One Day Schedule



4:00 起床・弁当作り

7:30 出勤
シソの世話

来客、
学生との
ディスカッション
大阪、東京、
海外への
出張も多い

昼食は
メールチェック
しながら
自席でお弁当

20:30
帰宅
夕食、
家族団らん

22:30
就寝



Mina Sugino

工学研究科
助教

杉野 未奈

京都大学工学部卒業
▼
大学院工学研究科 修士課程
▼
大学院工学研究科 博士課程
(日本学術振興会 特別研究員 DC)
▼
大学院工学研究科 助教



研究テーマ

京町家や全国の
伝統木造建物の耐震性の向上。
地震動の特性による
建物被害の研究



思いもよらない結果や発見が 新たなテーマにつながる。 それが研究の醍醐味



伝統木造住宅の耐震性能を把握するため、全国各地で構造調査を行っています。また大地震発生時には被災地に駆けつけ、1軒ごとの建物被害や、ドローンを飛ばしてどの地区の被害が大きいかを調べたり、地震計を使って地盤の特性を確認したりします。このような構造調査、被害調査は、研究室の教授や学生が一丸となって取り組むことが多いです。

学内の実験室では、京町家など住宅の一部を模した試験体を用いて、ゆっくり押し引きする実験を行っています。試験体の設計は私たちがしますが、木材の仕入れと製作は大工さんに任せ、細かい接合部の寸法などは棟梁と打合せをして決めます。解析的な研究は一人で行うこともありますが、実際の調査や実験で、どのような建物が存在し、建物がどのように壊れるかを、自分の目で見ることが大事だと思っています。通説を疑うこと、他の良い方法を考えることも大切です。例えば、私たちが開発した耐

震補強を施した京町家の加力実験を行いました。その結果、変形が大きくなるにつれて思わぬところに損傷が生じて、十分に機能を果たしませんでした。しかし、そこに新しい発見があり、新たな研究課題へつながっています。調査や実験で仮説通りの結果にならないと、新たにやらなければいけないことが見つかり、それが面白い。地震から人命や財産、文化を守るにはどうすればよいか、私なりの答えを見つけるために、興味とやりがいを持って取り組み続けたいと思います。

耐震性能実験は実大スケールで行うため、試験体は巨大。実験室のドアを開けると、3階分吹き抜けの空間が広がり建築現場のよう。実験は研究室の教員、学生、技術職員と協力して行う。実験室ではヘルメット必須。



高校生へのメッセージ

将来、何がやりたいのかわからない人も、「わからない」ということがわからいいと思います。「わからない」ことを意識して、興味のアンテナを張っていれば、大学に入ってからでも魅力的なこと、やってみたいことに出会えます。

L 杉野先生のある一日 One Day Schedule

6:30	起床
8:30	出勤
	実験、 データ解析、 教授や学生と 打合せ 講義など。 昼食、 夕食は学食で。
	構造調査、 被害調査に 出かける日も
20:30 ～ 22:30	帰宅
24:30	就寝

ESSENTIAL THINGS



曾祖父は大工の棟梁でした

祖父は建築士でもあり、父方の実家は、大工の棟梁であった曾祖父が建てたもの。私も建築に関わりたいなと思ったのは、二人の影響があるのかもしれません。

私の Key Item 通勤タイムにリフレッシュ！



通勤は愛車で。車の運転が楽しいです。構内から見える京都市街の景色がいい。五山の送り火も三つ見えます。吉田より桂キャンパスの方が好きですね。



Sanae Ikeda

人文科学研究所
助教
池田 さなえ

京都大学文学部卒業
▼ 大学院文学研究科修士課程
▼ 大学院文学研究科博士後期課程
(日本学術振興会特別研究員 DC)
人文科学研究所 助教



研究テーマ
明治時代の皇室財産の
運営実態の解明



史料は小説より面白い！ その面白さを多くの人に 知ってもらいたい



高校時代に司馬遼太郎の『幕末』を読んで、田中光頭という、明治期に宮内大臣を長く務めた人物に興味を持ちます。幕末よりも宮中に入ってからの田中について知りたいと調べていくうちに、宮中・皇室そのものに惹かれ、歴史学的に研究しようと思うように。卒業論文では田中について書いたのですが、そのときまたま見つけた史料が、今の研究テーマを決めることになりました。それは御料地(皇室財産の土地)の払い下げを巡る宮省内の対立を示す史料でした。卒論で扱うにはもったいない。もっと時間をかけて掘り下げていくべき史料ではないかと考え、その後の修士、博士論文のテーマになりました。もともと、卒論か修士で終わるつもりだったのが、テーマが深まり過ぎて、それに引きずられてここまでできてしまったという感じです。

御料地は戦前にあった山林や鉱山などで、収益をあげて皇室財産にするための土地。必然的に民有地と接しており、地元の

人を雇うので、皇室と一般の人たちとの関わりが見えます。一般の人たちが皇室をどう見ていたのかということもわかり、とても興味深いです。今まで見つかっていなかった事実を明らかにできる史料に出会えたときには感動します。本物の史料は作り物の小説よりいきいきしていて、面白い！ その面白さをなるべく多くの人に共有してもらいたい。のために、今やっている研究を原案とした映画や物語を作りたいと思っています。

明治天皇の側近の覚書『保古飛呂比』や宮内省の御料局長を務めた品川弥二郎の日記などの史料。東京の国立国会図書館や宮内庁書陵部の宮内公文書館を中心に、地方の文書館、史料館で探す。くずし字で書かれた史料は読むのも一苦労。くずし字辞典を使って読み解く。



ESSENTIAL THINGS



歴代総理大臣の写真を、 眺めるのが好きな高校生

勲章をいっぱい着けているような、明治時代の政治家の白黒写真が好き。明治の政治家は個性が強いので、そのキャラクターが面白くて、マンガや絵に描いたりしていました。

私の Key Item



カエルは癒し。 家にも研究室にも、 カエルがいっぱい！

京都大学受験のとき、カエルのぬいぐるみを連れて行って合格。以来、グッズを集めるように。約3000人のカエル好きが集まる「和束(わづか)の蛙祭り」(京都府和束町)にも参加しました。

高校生へのメッセージ

女性は、たとえばメイクや身だしなみにかける時間、家事、育児など、日々の細々した事のロスの積み重ねで男性より出遅れることもあります。自分がどんな研究者になりたいかだけではなく、どんな女性になりたいかも考えて人生設計することが大事。

L 池田先生のある一日 One Day Schedule

7:00 起床

洗濯・朝食
身だしなみ

9:00 出勤



研究

19:00 帰宅

夕食・
家事など



Kodzue Kinoshita

野生動物研究センター
助教

木下 こづえ

神戸大学発達科学部卒業

▼ 同大学院農学研究科博士前期・
後期課程

▼ 同大学院農学研究科 博士研究員

▼ 日本学術振興会特別研究員 PD

▼ 京都大学靈長類研究所 助教

▼ 野生動物研究センター 助教



研究テーマ
希少動物の保全繁殖生理学



動物の命をつなぐ研究を通じて、 人の輪、活動の輪を広げ 社会とつながっていきたい



幼いころから動物が好きでした。中学生の時に20世紀の終盤を迎えて、テレビで「絶滅」という言葉をよく耳にしたことから、「絶滅から動物を守りたい。絶滅を防ぐには繁殖だ」と思うようになりました。当時、科学情報ドキュメンタリー番組に、動物の人工授精に取り組む先生が出演されていて、「先生のような研究者になりたい」とあこがれています。大学生のとき、偶然にもその先生が農学部に着任されることになり、私も大学院から農学研究科に入学。同じ時期に、フランスから来たユキヒョウを神戸市の王子動物園で飼育することになり、繁殖の研究を担当することに。動物園でユキヒョウの行動を観察し、糞に近赤外線を当てて発情時期を調べたりしました。

京都大学の野生動物研究センターに来てからは、主にインドやモンゴル、キルギスタンで、野生のユキヒョウを研究。どんな所に棲んでいて、どこで出産しているかなどを、糞からホルモン

を調べて判定しています。学会で「面白い研究をしているね」と評価されたり、アメリカの動物園の獣医さんが私の論文を参考にして、「パンダの繁殖に挑戦するんだ」と言ってくれたときは、研究を通じて世界とつながっていることを知り、感動しました。

現在、双子の妹と一緒に保全活動も展開。研究も活動も人が人をつないで発展していくと感じています。フットワークの軽い、視野の広い研究者であり続けたいです。

ユキヒョウは、中国、ブータン、ロシアなどの標高4500~6000mに棲むネコ科動物。その生態は謎が多い。インドやモンゴル、キルギスタンでのフィールドは、現地の研究者やNPOの人々と一緒に調査。研究者でも一生会えないこともある野生のユキヒョウに、インドで出会い撮影にも成功。



ESSENTIAL THINGS



「これを、めざすぞ」と、 飾って眺めた大切な本

中学生のときに祖母に買ってもらった本『保全生物学のすすめ』。当時は読んでも内容はわからなかったが、卒論の引用文献としてもう一度読んだときには理解できた。ユキヒョウのことも書いてあり、感動。



私の Key Item

ユキヒョウの保全活動を、 双子の妹と一緒に

コピーライターの妹とツインズトラスト『まもろう PROJECT-ユキヒョウ』を設立。「ユキヒョウのうた」を作り、クラウドファンディングも企画し、絶滅危惧種の保全活動を行っています。

高校生へのメッセージ

好きなことを仕事にするのは難しいです。でも、一度きりの人生。自分を信じて、まっすぐに突き進める何かを見つけてください。「継続は力なり」、その原動力は「これが好き」という気持ちだと思います。

L 木下先生のある一日 One Day Schedule

7:00 起床

9:00 出勤

午前中は
メールの
チェックなど
午後は
ホルモン
濃度測定



19:00

帰宅・夕食
愛猫と遊ぶ、
ウクレレの
練習、
映画鑑賞など

23:00

就寝



学部生&院生

京大で学ぶ女子特別座談会



学び、研究することが、「楽しい」「面白い」と目を輝かせる女子3人。それぞれの研究やチャレンジについて、語っていただきました。

■ 京都大学（大学院）に入学して…

F: 1年のときから専門科目を取ることができ、自分が何かをやろうと思ったら、いくらでもその機会が提供されているところがいい。

K: 先生方は基本的に放っておいてくれるけれど、学生の方から聞きに行けば優しく教えてくれます。「求めよ、さらば与えられん」という感じ。

S: 京大生は周りを気にせず、自分が知りたいと思ったら聞くし、学びたいと思ったら学ぶという姿勢がすごなと思いました。

■ 研究テーマや学部を選んだのは？

F: 高校生のときに、ムハマド・ユヌス(バングラデシュの経済学者。グラミン銀行を作り、ノーベル平和賞を受賞)の講演を聞き、ソーシャルビジネスに興味を持って。ビジネスをしながら社会貢献できる会社を自分で作りたいと思い、経済学部を選びました。今は、シングルマザーに寄り添った事業案を考えています。

K: 私が研究しているのは、2つの星が回り合う連星系。連星系で片方の重力が強いと、もう片方の星のガスが引き込まれてグルグル回

り、ガスの円盤を作ります。この円盤のことを降着円盤というのですが、学部4年のとき、降着円盤の専門の先生に理論を習いました。その先生の影響で、降着円盤が面白そうだなと思って。円盤内で起こる物理現象が可視光として観測できるので、それを分析しています。

S: 学部時代に、発達障害のある子どもたちが通う塾で働いた経験から、今の研究テーマに興味を持ちました。大学院では、実際に自閉症の人と関わったり、脳活動の実験を通して自閉症のメカニズム解明をされている先生もおられるので、環境の整ったところで研究に取り組めると考えました。

■ 研究の楽しさ、面白さは？

K: 今までの常識に反するような結果が出たり、仮説が打ち碎かれたとしても、何か新しいことが出た瞬間が一番面白いです。「これを知っているのは世界で今、自分だけしかいないんだろうな」って。その一瞬のためにやっているのかも。

福田 千恵子 (F) 経済学部1年

【学び】「おもろチャレンジ」(体験型海外渡航支援制度)で台湾に3週間滞在。女性の社会進出と食文化の関係について調べた。

【高校生へ】大学生活の濃度を高めるため、高校生の間に、将来何をしたいのか、自分は何が好きなのかなどを考えておくのが大事だなと思います。



S: 私の研究している分野だと、心理学や医学だけではなく、教育工学や機械の専門家など、いろいろな分野の人と一緒に取り組むことが多いです。同じテーマに対して違うアプローチがあるので、分野は違っても行きつくところは同じ。やっていることは全然違うのに、何か話がわかるな、共通点があるなと気づく瞬間がおもしろいです。

■ 将来、そしてこれから…

F: 「資本がすべて」の今の資本主義には疑問を感じます。家庭の資本(お金)が子どもの進路に影響するなど、資本が可能性を決めているところがある。ムハマド・ユヌスさんが資本の動きを変えたように、ビジネスを通して新

鈴村 菜央 (S) 人間・環境学研究科 修士課程1年

【研究】発達障害、特に自閉症の人の手先の不器用さと脳活動の関係を研究。NIRS(ニルス)という脳計測装置を使い、日常生活に近い形での脳の活動を調べている。

【高校生へ】高校生のときいろいろなことを見て、知る機会を増やしてほしい。勉強に限らず、幅広くることで選択肢も増えます。



たな資本の可能性を見つけていけたらと考えています。

K: まだ女性研究者は少ないのですが、私はずっと研究を続けていきたいです。アメリカでは研究者はあこがれの職業らしいけれど、日本ではそうではない。人からあこがれてくれるよう、私自身が輝くのが目標です。研究にもどんどん新しいやり方や考え方を取り入れて改善し、新しい風を吹かせたい。

S: 例えば発達障害のことについても、理解されないことが多いです。脳活動の研究を通してその仕組みを解明し、広く社会で理解されるようにしていきたいです。そして、障害や病気のあるなしに関わらず、みんなが楽しく暮らせる環境づくりができたらと思っています。

木邑 真理子 (K) 理学研究科 博士後期課程1年

【研究】二つの星が回り合う連星系、なかでも片方の天体が重力の強いコンパクト天体を含む連星系を扱う。可視光の明るさの変化を観測し、連星系の中で起こっている物理現象を研究。平成28年度には「京都大学久能賞」を受賞。

【高校生へ】やりたいことがあるなら、それに突き進めばいい。多くの情報の中から自分のやりたいことを取捨選択する能力も大事です。





参加すれば、京都大学がより身近に！
京都大学を「見る・知る・体験する」
イベントがいろいろ！



女子高生・車座フォーラム

研究ってどんなこと？ 研究者ってどんな人？

どんな研究分野があるのかといった進学に関わる話から、研究の面白さや苦労、研究論文や学会発表など研究者の仕事内容、卒業後の将来設計のための心得、さらに研究生活と子育てや介護との両立方法まで、さまざまなテーマについて、教員や大学院生、学生から直接話を聞くことができます。

12月に開催／女子高校生と保護者対象・参加無料（要申込み）
●京都大学の紹介●入試に関する説明●女性研究者の講演●講師・学生とのグループワーク
●入試に関する質疑応答

京都大学の大学院生や博士研究員が「学びコーディネーター」として、高校での将来のキャリア形成などを目的とした授業や、希望生徒を対象にした課外講座などを実施。「出前授業」は学びコーディネーターが高校を訪問し、「オープン授業」は校外学習などで京都大学を訪れる高校生に対して、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

たちばな賞（優秀女性研究者賞）

学術上優れた研究成果を挙げた京都大学の若手女性研究者や博士課程学生を、大学として讃える制度。



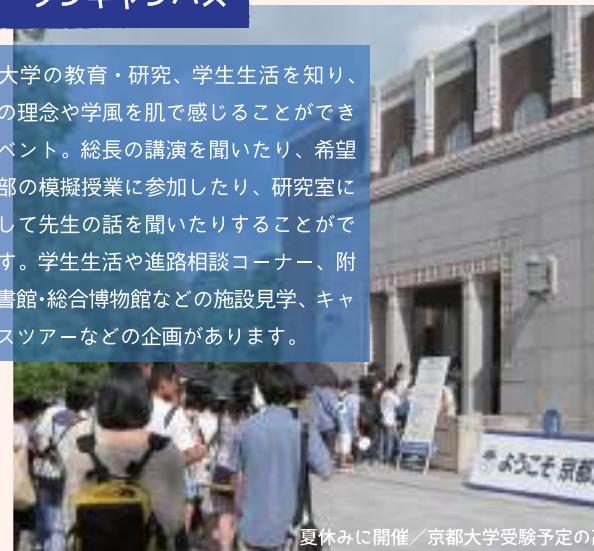
出前授業・オープン授業

9月～12月に実施／
全国の高校対象・高校の費用負担なし（要申込み）

オープンキャンパス

京都大学を丸ごと体験！

京都大学の教育・研究、学生生活を知り、大学の理念や学風を肌で感じることができるイベント。総長の講演を聞いたり、希望の学部の模擬授業に参加したり、研究室に訪問して先生の話を聞いたりすることができます。学生生活や進路相談コーナー、附属図書館・総合博物館などの施設見学、キャンパスツアーなどの企画があります。



大学祭【11月祭】

11月下旬に行われる京都大学の学園祭です。スペシャルライブや講演、研究室企画のほか、京大スタンプラリー、京大ガイドツアー、映画祭典、古本・古レコード市、さらに100店以上の模擬店が出店、特設ステージで行われるライブやイベントなどでぎわいます。

アカデミックディ

秋に開催／一般対象・参加費無料



市民と研究者が学問について語り合うイベントです。大学研究者と高校生による研究紹介のポスター展示「研究者と立ち話」や、研究にまつわるあんな話、こんな話をお茶の間気分で話し合う「ちゃぶ台囲んでひざ詰め対話」、テーマに沿って語り合うトークライブ「お茶を片手に座談会」などのプログラムがあります。



●オープニングセレモニー（総長講演、応援団による演奏、在学生からのメッセージ）●キャンパスツアー（教室や食堂、図書館などの施設）●人気教員による講演会●在学生によるクラブ・サークル紹介●在学生による公開座談会●在校生交流コーナー、相談コーナー、学部紹介コーナー●構内施設見学（百周年時計台記念館展示ホール、附属図書館、総合博物館）●各学部企画



おもろチャレンジ

体験型海外渡航支援制度。
既製の留学ではなく、本学学生の主体的に海外で学んでみようという意欲を後押しすることを目的に、奨学金を支給する制度。

久能賞

21世紀における地球規模の課題を解決し、よりよい世界を目指し、社会に貢献したいという高い志を持ち、科学・技術分野において自ら定めた独創的な夢を持つ意欲のある本学女子学生を支援する制度。